

## 小地域福祉活動連絡会グループワーク詳細意見

10月18日（月）

### ○1 グループ

- ・月一回定例会を開催。20名参加
- ・参加者は80歳から97歳のかた
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、定例会やサロンは中止となっており、これまでサロンに来ていた方がうつ状態になったり、認知症となったりしている。
- ・活動が中止になっている間、顔見知りのところには電話で連絡をしていた。
- ・公園での花壇の水やりなどの活動は続けていた。
  
- ・緊急事態宣言後も5回ほど開催している。ただし、集まる形ではなく訪問。訪問時にあんみつとフレイル予防のチラシをお持ちした。訪問後は友愛訪問実施票に記入を行う
- ・コロナ禍で、亡くなった方や施設入所の方、孤独死もあった。
- ・新しく活動者が2人入った。二人とも60代で、一人は警察署に勤めていた女性の方、もう一方は元薬剤師の方。定年を迎えて地域で何か活動したいということで、連絡が来て、仲間になった。
- ・警察署に勤めていた方は、フレイルのチラシも作成してくださり、なにかもめ事があるとすぐに行ってくれる。
- ・今後は軽い運動や参加者の方にハンドベルを行ってもらうなどを企画している。
- ・町内にアルファ米があり、使ってほしいといわれたため、カレーも作り、一緒に配布の予定。12月はケーキと何かのチラシをもって再度訪問予定。
  
- ・ひまわりや植物（野菜）を町中に植える取り組みをした。水やりを当番制で行う。
- ・水やりをすることで地域に住んでいる方が声をかけてくれるようになった。
- ・ヒマワリの色紙を手伝ってくれた方に配った。
- ・今後はコスモスを植える予定。
- ・マンションの敷地にヒマワリを植えることができないか、マンションに話に行った。その話し合いがきっかけとなり、マンションから来年はマンション住民にタネを配ってもらえないかとの話が来た。  
⇒つながりのなかった人がつながることができた。
- ・毎週体操を実施している。
- ・床に座らない、マスク着用、手指消毒、イスの消毒を行うほか、張り紙で対策の流れを示している。

<グループ内まとめ>

- ・これまで継続して長く活動してきたため、つながりができ、うつや認知症など、参加者の状況の変化がすぐに情報として入ってきた。
- ・消毒などの対策を張り紙で貼ることで、参加者がわかりやすいだけでなく、対策をしているということをまわりに示すことができ、安心感につながる。
- ・植物を育てるというつながりがきっかけで、マンションの協力やつながりがなかった方とつながることができた。
- ・日々、活動をしていくことで、周りに周知できており、新しい活動者が仲間になった。新しい方が活動したいと思ったときに、気軽に参加できるよう、受け入れる体制も大切。

○2グループ

- ・パウダーアート（砂絵）キットを見守り対象者の家のポストに配布。今年も行う予定。
- ・月に1回見守りの電話をしている。

※お祝い金を渡しに行ったところ、拒否されたこともあった。コロナに対し、極端に警戒している高齢者もいる。

- ・1、2月のみ活動休み。しかし、消毒スプレーを持参し、見守りは継続した。
- ・9月 会場の許可が下りたので、話す場を設ける。（1時間程度の制限あり）
- ・11月 オレオレ詐欺の話聞く予定。何度も啓発する必要性を感じる。
- ・12月 押絵を予定。

※他のサロンなどの見学を希望。参考にしたい。

- ・室内では不安なので、公園で体操を月3回程度行った。
- ・手紙を書いて、対象者のポストに入れた。（月1回）

手紙には、地域の情報、『相談があれば、是非』と書き、連絡先も記載した。

→住民から電話があり「名前は名乗れないが、誰かと話したかった」と言われた。

その後、面識のあまりない近所の方と分かった。

- ・10月。サロンを開始。（週2～3、1.5時間）
- ・サロンは、ペットボトル1本のお茶を用意するだけの『話す会』にした。
- ・話すだけでは…ということになり、軽い体操、脳トレプリントも取り入れている。

※活動者が家庭・自身の諸事情のため減り、1人になってしまった。最近になって1人増え、

現在は2人で活動している。

### ○3 グループ

- ・今までは町会会館で健康体操を行っていたが、会場を遊歩道に移した。(雨天時はガレージ)外で開催することで、今まで参加したことのない方、活動を知らなかった方に活動を知っていただき、参加者が増えた。(男性も4名参加、区外の方も)
  - ・みまもり相談室や分館職員に来てもらい、体操後に情報提供などを行ったりもしている。
  - ・ヒマワリの栽培を通じて、地域の方とのつながりづくりを進めていた。
- 
- ・活動者の間で、次の月は何を行うか計画をずっと立てている。
  - ・コロナの影響で、残念ながら中止となっているが、常に活動したいという気持ちは共有している。
  - ・集まる活動はできていないが、高齢者の方を訪問し、手作りの品などを届けたりしている。
- 
- ・活動は何でもやります。自由参加だが、本人の参加したい(したくない)意思を尊重している。ウォーキングや公園での花の会(花壇づくり)、体操など。
  - ・他団体から種をもらい、ヒマワリを育てている。とても大きな花をつけたとタネをくださった団体の活動者も絶賛していた。
  - ・区外にも出かけることが多い。シルバーパスで行ける範囲。
- 
- ・カラオケなどを行っていたので、なかなか開催が難しかった。1月はサロンを行い、対策をして12~3人ほど集まった。秋には再開したいと思っている。